

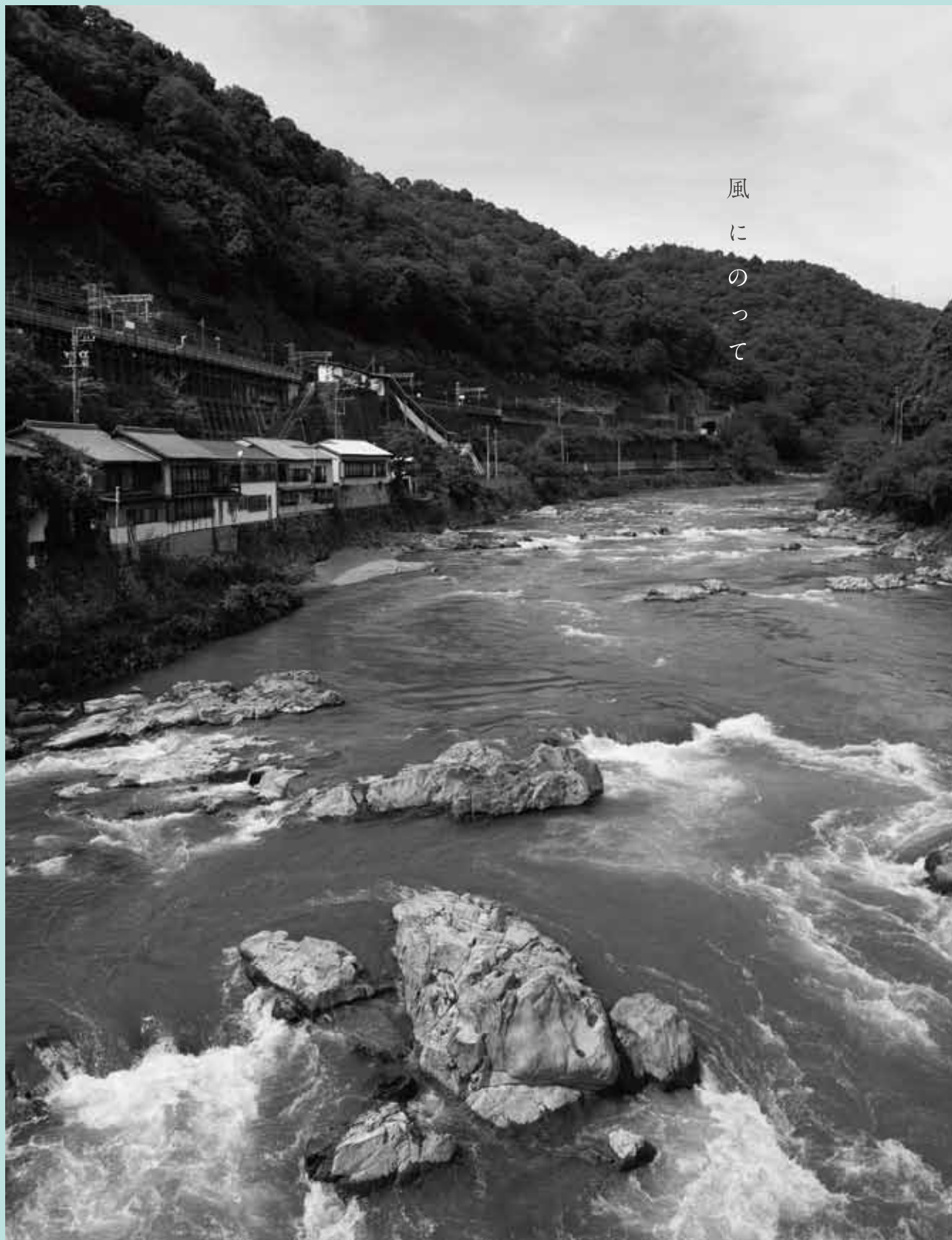
公益財団法人かすがい市民文化財団情報誌

フォーラムプレス

FORUM PRESS

86^号
6-7^月
2018

春日井の文化をつむぐ



「“自分なりのもん”を作っていきたい」

初舞台は覚えてません。家族ぐるみでやっておりますから、生活の中に普通に狂言があって、気づけば狂言の世界に浸っていました。



あの人と、春日井と

大蔵流狂言師

十四世 茂山千五郎

SHIGEYAMA Sengoro

1972年7月7日生まれ。五世千作の長男。

4歳の時に『以呂波』のシテにて初舞台。その後『三番三』『釣狐』『花子』『狸腹鼓』を抜く。過去には『花形狂言会』『狂言小劇場』『心・技・体、教育的古典狂言推進準備研修錬磨の会=TOPPA!』また若手能楽師による能楽グループ『心味の会』を主催し、狂言のみならず能楽のファン開拓にも力を注ぐ。現在は花形狂言会改め『HANAGATA』、弟茂との兄弟会『傳之会』、落語家桂よね吉との二人会『笑えない会』を主催し、幅広い年代層へ狂言の魅力を伝える。

2016年 十四世茂山千五郎を襲名。

花形狂言2018
真夏の狂言大作戦!
8/19@15:00~
@春日井市東部市民センター

詳細情報は、裏表紙で **Ticket Guide**

幼い頃から個性豊かな狂言師の家族に囲まれ、いずれは当主になると聞かされて育った。「父、祖父、曾祖父、二世千之丞や七五三、みんなタイプが違います。色んな人の色んな芸を見てきたから、どれをやってもいいんや、と。その中で、これは自分に合うかな、こうやったら受けるかな、と考えて演じるようになりました。狂言は個性が反映される芸能なので、父や祖父と同じことをやろうとしてもできない。骨格となる「型」をしっかり身につけた上で、肉付けするのは自分なんです」。2016年9月、京都・大蔵流の茂山千五郎家の当主、十四世茂山千五郎を襲名。襲名披露の際は肉体的にも精神的にもハードとされる『釣狐』『花子』『狸腹鼓』の3曲を1か月で演じるプログラムに挑戦した。「千五郎の狂言は“千五郎家の狂言”と見られますので、ミスはできません。周りから信頼してもらえる芸の力は絶対に必要です。先代も先々代も、トップとして格式を守っていくというより、好き放題やってきた人たちですから(笑)僕も変わらずやっていきたいです」。千五郎、宗彦、茂、逸平、童司。茂山家の5人によるユニット『HANAGATA』では、古典作品はもちろん、気鋭の劇作家が執筆した新作狂言や現代的な手法を取り入れたコント風の作品など、初めて狂言を観る人にも分かりやすい舞台を目指している。HANAGATAによる『花形狂言』は、大好評だった2年前に続き、この夏、2度目の春日井公演を迎える。「5人とも全然性格が違いますし、目指していることも違います。面白いですね。色々な方向を向いている皆がバラバラにならないよう、扇の要のようにちゃんと中心にいるのも千五郎の役目のひとつ。そのためには、周りからの信頼や信用が必要なんです」。

テキスト・写真＝鈴木史子

CONTENTS

12	11	10	09	08	06	04	02	01
インフォメーション	校歌は地域をうたう vol. 34 松原小学校／今月のお客様 vol. 23	提携ショップ「バスケットボールショップ BUZZER BEATER 春日井本店」	わたしレポート「雀々・市馬 東西会」	このマンガを読め！ vol. 25 「チェリスト」を描いたマンガ	手作り演劇「この場所、自分史」ができるまで	人形劇団むすび座「父と暮せば」	物語付きクラシックコンサート「アラジンと魔法のランプ」	あの人と、春日井と「狂言師 茂山千五郎」

写真家の眼

N° 013

今では誰もが簡単に写真を撮れるけれど、写真家と言われる人の写真は、なんかちょっと違う気がする。彼／彼女らはどんなふうに、見て、切り取るんだろうか。春日井にまつわるもの、という切り口で始めた表紙写真プロジェクトです。



今号の表紙 on the cover

PHOTO 壹岐倫子
TOMOKO IKI

定光寺駅は、いつかまた訪れたいと思っていた場所でした。今回の撮影で改めて歩いてみると、自然の中に歴史と人々の文化が脈々と続く秘境のような土地にすっかり魅了され、定光寺駅から内津峠を越え内々神社、妙見寺にたどり着きました。するとふと、10年前に友人の結婚式で訪れた場所だと気づきました。再びこの土地に導かれたことに感謝し、この土地のように自然と歴史を大切に生きていこうと思いました。

発行＝公益財団法人かすがい市民文化財団
486-0844 愛知県春日井市鳥居松町5-44
文化フォーラム春日井 TEL.0568-85-6868
編集＝公益財団法人かすがい市民文化財団
制作＝211design-meme・ Art Director＝鷹巣由佳

生の音楽をダイレクトに感じてみよう！

親子で楽しむ劇場体験！

子どもも大人も楽しめるクラシックコンサートが春日井市民会館にやってきました。歌あり生演奏あり、お芝居ありと、盛りだくさんな公演の魅力に迫ります。

★ランプの精役

オペラ歌手

与那城敬

★おさがが精役

俳優

小関明久

出演者インタビュー

取材 4月28日 @日生劇場 テキスト スタッフ 鈴木史子



『物語付き』だからこそ、コンサートがもっと身近に

「アラジンと魔法のランプ」は前シリーズ「不思議の国のアリス」に続く、十二年目の新作だと伺いました。お二人は前作にも出演経験がありますが、印象に残っていることは？

与那城 前作でも、オーケストラの生演奏で、物語と一緒にクラシック音楽の名曲をたくさんお届けしました。演じていて面白かったのは、子どもたちの反応です。リアクションが様々ですし、物語の中に入ってくるんですよ。舞台上の登場人物に「そっじゃないよ！」とか「後ろを見て！」って声をかけてくれたり。

小関 ハートの女王様が「アリスと仲良くした人は不思議の国から追放！」と言うシーンでは、登場人物が女王様の命令でアリスから離れて行くのですが、その瞬間、客席の子どもたちが「僕が友達になってあげる！」って言ってくれた

音楽の力を伝えたい



「初めてクラシックコンサートを聴く」というお子さん多いと思います。聴きどころは？

小関 オペラやピアノの曲、オーケストラによる交響曲など、多彩な曲が演奏されます。僕が好きなのは、クラシック音楽に日本語の歌詞をつけてみんなで歌う場面です。今回、登場するのは、サン・サーンスの『ピアノ協奏曲第四番第二楽章』。僕も聴いたことがなかった曲ですが、日本語の歌詞を乗せることで、子どもから大人まで歌える曲になっています。クラシック音楽がミュージカルナンバーのように物語の中に溶け込んでいるので、子どもたちも親しみやすいと思います。

与那城 音楽は目に見えないけれど、音や声ダイレクトに振動として耳に届く、ただそれだけで涙が出てしまうような、不思議な力があります。だから、僕が大事にしているのは「本物を伝える」こと。例えばオペラのアリアを歌うときに、子ども向けに分かりやすくアレンジしたりせず、オペラの役になりきってそのまま演じます。本物は子どもたちに伝わるんです。

小関 僕は幼稚園の時に、日生劇場のミュージカルを観た体験が、俳優の仕事を始めるきっかけの一つになりました。俳優に限らず、将来どんな職業に就くとしても、何かに感動することや、自分の気持ちを表現することは、大切なことだと思っんです。このコンサートが、心を動かされる体験の一つになればと思います。



日生劇場 客席

東京・日比谷の老舗劇場

『アラジンと魔法のランプ』を制作する日生劇場は、今年55周年を迎える歴史ある劇場です。開場以来、オペラやミュージカルなどを数多く上演し、日本の舞台芸術をリードし続けてきました。夏休みには「日生劇場ファミリーフェスティバル」と銘打ち、クラシックコンサート、伝統芸能、バレエなど様々なジャンルで、子どもから大人まで楽しめる舞台を制作・上演しています。



スタッフ＝鈴木史子

取材当日、日生劇場お隣の「東京ミッドタウン日比谷」でミニコンサートに出演されていた与那城さんと小関さん。素晴らしい熱演に、もっと観たい、聴きたい！という気持ちが高まりました。

日生劇場ファミリーフェスティバル2018
物語付きクラシックコンサート

アラジンと魔法のランプ

8/25(土) 11:00～15:00～

@春日井市民会館

詳細情報は、裏表紙で Ticket Guide

井上ひさしの名作『父と暮せば』 人形劇だからこそ味わえる 戯曲の深み



あらすじ 1948年夏、広島。原爆で父・竹造や友人を亡くした美津江は、幸せになることを自分に禁じて生きていました。そんな彼女の前に、娘の恋を応援しようと幽霊になった父が現れます。娘の幸せを願うお節介な父と、それを否定する真面目な娘。喜劇的ともとれる父娘のやりとりから、次第に原爆投下にしむ人々の苦悩が浮かび上がってきます。

名古屋を代表する人形劇団むすび座が、6年前から大人向けのレパトリーとして再演を重ねてきた井上ひさし作『父と暮せば』。2人芝居の戯曲を4人の俳優と人形で表現していく公演は、口コミで話題となりました。

取材：4月20日@名古屋市内むすび座アトリエ
テキスト：スタッフ 相馬加奈子

**人形劇にしかできない表現を
—なぜ人形劇で『父と暮せば』を？**

林「この作品を上演したい！」と言った劇団員がいて、むすび座特有の「えい！やつてしまえ！」といった勢いで生まれました。人形劇の公演ですと、通常セリフはだいたい一行。ところが、『父と暮せば』は演劇の戯曲ですので、セリフがとにかく長い。初めて台本を読んだ時、「これをどう人形劇にするんだ」と愕然としたことを覚えています。ただ、作品の中で美津江の父・竹造が、幽霊として登場するので、「これはいけるかも」という期待もありました。人形劇と幽霊やお化けといった存在は相性が良いので。

—相性が良いのはなぜですか？

林 人形は、簡単に姿を消したり、空を飛んだりできますからね。それって人形劇の得意分野なんですよ。

—人形劇ならではの演出の工夫は？

八幡 人形は人間が触れないと、動きませ

ん。人間が手で触れ、初めて息が吹き込まれます。逆に、俳優が人形を持っていた手を

ばつと放しただけで、人形はすーっと魂が抜けていつてしまったようにみえます。この視覚的な演出は、自分が幸せになつていいのかと悩む美津江の葛藤を表現するため、人形劇として効果的に使えるのです。

林 お芝居だと、役者が表情豊かにその役を演じますが、人形には表情がない。目があるな、口があるなとわかるくらいの薄い顔。お客様は人形の表情を想像しながらお芝居を見るわけですが、おそらく、自分の父親だったり、母親や娘の表情を人形に見ているのでしょう。だからこそ、芝居の中の言葉が、より自分のことのように強く感じられる。ここが、人間が実際に演じるのと人形劇との圧倒的な違いだと思います。

—初演から変わったことは？

八幡 大きな演出の変化は、井上ひさしさんの作品であることを尊重しようという思いから、暗記して話していたセリフを、舞台上で俳優が台本を見ながら朗読するようになったことです。「爆発」とか「息絶えた」という言葉を台本で実際

に目しながら発すると、言葉から受ける衝撃が全然違いました。演出が変わったことで感じた新しい発見でしたね。

戦争を知らないからこそ、感じるもの

—若い世代の反応は？

飯田 作品の舞台は美津江の家。どの



(左から) お話を伺った飯田恵美さん、八幡美佳さん、林達美さん

家庭でもありそうな、父と娘のありふれた日常会話から物語が始まります。美津江も、竹造も、どこにでもいる普通の人。そんな2人の会話から見えてくる戦争の悲惨さ、生き残ってしまった者の悲しさや、亡くなってしまった者の無念さ。だからこそ、若い人にも共感できる部分が多い

んじゃないかと思っています。

八幡 中高生たちのアンケートを読んでいると、美津江が、自分より優秀で美しかった友人の昭子さんが亡くなつてしまったことに苦しむ姿についての言及がすごく多いんです。戦争を知らない世代でも、自分と他人を比べたり、自分の価値を常に問いかけている若い人の感性だからこそ感じとれる「戦争」があるんだと感じました。

この作品を、後世に伝えたい。

—むすび座にとって、『父と暮せば』はどのような作品ですか？

飯田 前回の上演後、お客様から「子どもが大きくなつてからも見せたいから、これからもずっと続けてください」と言われました。ありがたいことに、そういった声を本当によくかけていただけているんです。『父と暮せば』は、むすび座としてこれからも大切にしていきたい作品です。

林 この作品は、戦争をテーマにしていますが、最後には「生きるって素晴らしい」と感じます。見終わつたお客様の頬には涙の跡こそ残っていますが、表情は晴れ晴れとして帰っていかれる。実は、演じて

人形劇団むすび座 潜入レポート！



40名のメンバーで、年間1200ステージを全国規模で行っている人形劇団むすび座。アトリエを訪ねると、人形を作る部屋、衣装を作る部屋、舞台美術を作る作業場、大小の稽古場など、様々な部屋がありました。子どもたちに夢を届ける作品の数々は、このアトリエから生まれています。



スタッフ=相馬加奈子

むすび座の「父と暮せば」を初めて観た時、号泣した私。取材では、むすび座の皆さんがこの作品とまっすぐ向き合う気持ちに感動しました！

第88回かすがい芸術劇場
人形劇団むすび座
「父と暮せば」
8/10金 14:00~ 19:00~
@文化フォーラム春日井・視聴覚ホール

詳細情報は、裏表紙で **Ticket Guide**

来場者の声

最後は思わずウルウルと涙がでてきました。人のハートが伝わってくる舞台でした。春日井の良いところを、改めて実感することができました。(春日井市／50代／女性) 出演者が自分自身を語る演出が、とても面白かったです。ダンスの振り付けもよかったですね。(東海市／70代／男性) 最近、春日井に引っ越してきたばかりです。このお芝居を観て、春日井の中で行ってみたい場所が増えました。(春日井市／20代／女性)



教えて有門さん!



演劇×自分史のこれから (演出家・俳優 有門正太郎)

演劇も自分史も、「これが正解」という答えはありません。何をどう感じるかは、受け取る側の自由。このプロジェクトを通じて、たくさんの人に演劇や自分史に興味を持ってもらえたらうれしいです。

出演者に聞く!「この場所、自分史」体験談
ワークショップで作品を作っていくのも、台本がないというのも初めての挑戦でした。皆フレンドリーで楽しかったです!(安藤優田)／みんな、自分の持っていない気持ちや個性を持っていて、感心しました。参加者それぞれの人生までもが表れた舞台だったと思います。(太田元明)／演出が有門さんだったからこそ成功した舞台!稽古のたびに、玉手箱を開けるような楽しさがありました。(梶田みどり)／即興で作っていく演技は、予期せぬことが起こる日常の延長のようで面白かったです。刺激的な毎日でした。(黒川ゆかり)／初対面の人と、短期間でこんなに深く知り合えるとは!二度とつくれない作品が作れたと思っています。(高木京美)／あなた、良かったわよ!と、終演後に色々な人から声をかけてもらいました。反応があるとうれしいです。(真木美知子)／若い人たちと演劇を通して仲良くなれて、良い思い出です。稽古の休憩時間のお喋りも、楽しかったです。(村井二氏)／最初は緊張したけど、すぐみんなと仲良くなりました。即興でシーンを作っていく稽古が楽しかったです。(宮本翔志)／稽古に来ると嫌なことも忘れてしまいうくらい楽しかったです。もっと頑張りたいと思いました。(宮本千愛里)



「春日井でなぜサボテンが有名なのか?」興味を持った少年が、春日井市のサボテン園を訪ね、店主からサボテンレクチャーを受けるシーン。参加者が実際に取材に行った、後藤サボテンの話が盛り込まれています。

皆で作った手作り演劇

「この場所、自分史」 ができるまで

「演劇をつかって自分史で遊ぶ!」をキーワードに、市民を巻き込んで展開していく演劇×自分史プロジェクト。3年かけて行う本プロジェクトの第1弾である演劇×自分史発表会「この場所、自分史」が3月25日に文化フォーラム春日井・視聴覚ホールで開催されました。

作品に出演したのは公募で集まった9名の個性派メンバーと、アシスタントでダンサーの服部哲郎さん、俳優の岡本理沙さん。演出をつとめたのは、2016年から春日井市内で演劇ワークショップを展開してきた演出家・俳優の有門正太郎さんです。

メンバーたちは、市民から集めた春日井での思い出のエピソードや、取材で得た春日井ネタ、出演者自身の断片的な自分史を、コラージュのようにつなぎ合わせ、笑いあり、涙ありの演劇作品を発表。出演者はもちろん、鑑賞者にとっても「自分史」の新たな魅力の発掘につながる公演になりました。

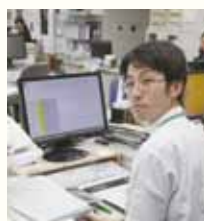


あんな場面、こんな場面
朝宮公園近くの緑道にある石碑の言葉に元気づけられたエピソードを語ります。臨場感のある話し口調に、観る側もどんどん引き込まれていきました。



あんな場面、こんな場面
男子からの突然の告白に困り、突然、山本リンダの「こまつやうた」を歌いだす女子高生を演じます。出演者全員が登壇し、女子高生を応援!

文化財団スタッフが語る!ここだけの話



制作担当 伊藤寛隆
有門さんから「会場に入った瞬間から、テーマパークのような賑やかな雰囲気にした」とリクエストがありました。そのため、客席には100枚近くの似顔絵を貼りだしました。似顔絵は文化財団スタッフの手描きです。



舞台監督 森田完幸
舞台の床面に描かれた巨大な春日井市の地図は、スタッフがビニールテープで描いた力作です。地図上のランドマークもイラストも手作りです。台本のない舞台だったので、決まった演出を各セクションに伝えるのに苦労しました。



音響担当 山下玄
会場に現れた巨大な春日井市の地図。僕が音響操作をしていた場所には、ちょうど県営名古屋空港の辺りだったので、飛行機の帽子をかぶってみました。ダンスシーンでは、決めのポーズと一緒にやりました。



照明担当 後藤友介
台本がないので、シーンをみながらキャストと同じ気持ちにならなければなりません。照明プランを組み立てていきました。リハーサル中も、ギリギリまでプランを考えていました。本当に、キャストと裏方スタッフ、みんなで作り上げた公演です。

今年もやります!

演劇×自分史プロジェクト2018
演劇×自分史プロジェクトに参加してみませんか?
応募詳細は、8月下旬頃文化財団のホームページで発表します。
[2018年度のスケジュール]
9月上旬 参加者募集
10月上旬 稽古スタート
1月中旬 本番

春日井いち推しーの
ご機嫌な6人組



【今回の担当レポーター】
林 佳枝

第1回ワンコインコンサート Saxophone Ensemble BULLーブルー

@文化フォーラム春日井・視聴覚ホール

Report.287
3.16
FRI



地域に根ざす若手音楽家を3年間支援する活動の一環として行われた「ワンコインコンサート」。第1回登場の「BULL」は、サクソフォン×5、打楽器×1からなる男性6人のアンサンブル。2010年結成の実力派です。黒スーツで金色のサクソフォンを構え舞台に立つ姿は、品良くお洒落。まずはクラシックの王道モーツァルトのメドレーで始まりました。会場は満席。少しはにかむ初々しいMCの後は、アニメソング『銀河鉄道999』や懐メロのアレンジ『高校3年生と青い鳥』、ジャズ、現代音楽まで守備範囲の広さも披露し、輝きある音色で客席を魅了します。時に玩具やアフリカの打楽器を用い、メンバー各々の個性を生かして、コミカルに音楽の楽しさをアピール。最前列の小学生から自然に言葉がかかるほど、聴衆の心をギュッと掴みました。ワンコインだからこそ気軽に集まった観客が、心底楽しめた本物の演奏です！これから春日井に密着して活動していく「BULL」。さあ、どう進化するのでしょうか。楽しみです。

フォーラムプレス
レポーターによる
「わたしレポート」

MY REPORT

他のレポートもHP
で紹介中！→財団
スタッフDIARY



市民ボランティアが
かすがい市民文化財団の
アレコレを紹介！

落語は聴くもの
そして見るもの



【今回の担当レポーター】
こじまみつこ

Report.285
3.4
SUN



雀々・市馬 東西会

@春日井市東部市民センター

※画像無断転載使用禁止

出囃子の音も賑やかに関東・関西の落語の雄が春日井市にやって来ました。東の四代目柳亭市馬さんと西の桂雀々さんの二人です。前座・二つ目に続き登場した市馬さん。張りのある声で落語『片棒』を語ります。落ち着いた語り口で、耳に心地よい響きです。『片棒』はケチな主人が、自分の葬式のやり方を三人の息子に尋ね、跡取りを決めようとする話です。大盤振る舞いの葬式から、芸者・神輿まで繰り出す葬式。木遣り唄に鉦・三味線・太鼓の音を身振り・手ぶりも加えて表現するしぐさが、とても色っぽくつややかです。落語は聴くだけでなく、見るものでもあると実感しました。中入り後は鏡味仙志郎さんの太神楽。トリは雀々さんが『手水廻し』を披露しました。手水廻しが何なのかわからない宿の主人と番頭が繰り広げてるやわんやの物語です。主人と番頭の掛け合いが絶妙で、汗びっしょりで熱演する雀々さんに皆さん拍手・大喝采。最上級の落語を見て聴いて味わって、幸せなひと時でした。

第68回
かすがい日曜シネマ

KASUGAI 68 CINEMA

「はじまりのボーイミーツガール」

7/1(日)

①10:15～ ②13:45～ ③16:45～

@文化フォーラム春日井・視聴覚ホール

2016年 / フランス映画 / 89分

詳細情報は、裏表紙で Ticket Guide

小さな恋の物語
落ちこぼれ少年のヴィクトールが恋をしたのは、クラスの誰もが憧れる美人・秀才・お嬢様のマリリー。ある日、マリリーから「勉強を手伝ってあげる」と声をかけられ、2人は急接近！しかし、マリリーには誰にも言えない深刻な秘密があったのでした…。
チェロ奏者になる夢を持つマリリー。懸命に夢に向かっていく姿には、彼女に恋するヴィクトールでなくともエールを送りたくなること間違いなし！マリリーがチェロを演奏するときに見せる、大人顔負けの表情にも注目です。
フランスのベストセラー小説を映画化した本作。少しませたようにも感じる子どもたちの恋物語ですが、キュートな子役たちの熱演や、次々と巻き起こる出来事にハラハラしているうちに自然と物語に引き込まれていきます。フランス映画の醍醐味であるユーモアたっぷりのセリフの掛け合いもお楽しみに！

テキストイラスト：相馬加奈子



©2016 GAUMONT-AJIOZ FILMS-NEXUS FACTORY

プロデューサー
小松淳子の

このマンガを読め！

COMIC × CINEMA

vol.25

「チェリスト」を描いたマンガ

チェロを弾く人物が魅力的に描かれた漫画をご紹介します。



郁未が弾いた
ドヴォルザークのチェロ協奏曲を聴きたくりますよ。

僕のジョバンニ
©穂積 / 小学館

女性の感情のさやかな変化も、丁寧に掬い取って描く谷川先生。優しい線に包み込まれるような心地よさが魅力です。

はじめてのひと
©谷川史子 / 集英社



16歳以上のチェリストは…

はじめて好きになった人、はじめて憎んだ人、はじめて愛してくれた人…さまざまな女性の「はじめて」を描く谷川史子の短編集。1巻の後半からは、美術館で修復の仕事をする与が、チェリストの諏訪内さんと出会い、恋が始まる様子が描かれていきます。しかし2巻に入ると、諏訪内さんの秘密を知った与の苦悩が描かれるようになって…。作者の谷川先生もチェロを習い始めたらしく、作中で描かれる諏訪内さんの弾くチェロ姿の魅力的でカッコイイことと与が恋に落ちるのもわかるのですが、与に共感できるかどうか、おそらく真二つに意見が分かれるお話かな…。読後は女子トークで盛り上がりた気分です。

天才に挑む凡人の戦い方

孤独にチェロを弾く少年・鉄雄は、海難事故で助かった少年・郁未と暮らすことに。郁未にチェロを教え、急速に仲良くなる二人ですが、ある日、郁未は鉄雄が弾けない難曲を弾きこなし、鉄雄は大きなショックを受けます。離れた二人が成長してコンクールで再会し、チェロ対決をするであろう今後の展開に期待大です。

FORUM PRESS 86号 読者アンケート

いつもFORUM PRESSをご愛読いただき、ありがとうございます。今後もより読み応えのある誌面づくりをしていくため、参考にさせていただきます。
アンケートへのご協力をお願いいたします。

回答者プレゼント

抽選で次の1～3のいずれかをプレゼント!!

1 「アラジンと魔法のランプ」ペアチケット(大人・子ども共通) 8/25(土)15:00～
2 名様

2 人形劇団むすび座「父と暮せば」ペアチケット 8/10(金)19:00～
2 名様

3 スターキャット直営館映画鑑賞ペアチケット
2 名様

回答者プレゼントの応募締切は、
6/30(土)必着

たくさんのご応募、お待ちしております。
※当選は発送をもって代えさせていただきます
※当選者への発送は7月上旬の予定です

1 どこで情報誌FORUM PRESSを
入手されましたか？

2 今回のFORUM PRESSで、
面白いと思ったページに☑を付けてください

- ☐ P.1 あの人と、春日井と「狂言師 茂山千五郎」
☐ P.2-3 物語付きクラシックコンサート「アラジンと魔法のランプ」
☐ P.4-5 人形劇団むすび座「父と暮せば」
☐ P.6-7 手作り演劇「この場所、自分史」ができるまで
☐ P.8 このマンガを読め!vol.25「チェリスト」を描いたマンガ
☐ P.9 わたしレポート「雀々・市馬 東西会」
「第1回ワンコインコンサート「BULL」」
☐ P.10 提携ショップ「バスケットボールプロショップ
BUZZER BEATER 春日井本店」
☐ P.11 校歌は地域をうたうvol.34 松原小学校
今月のお客様vol.23
☐ P.12-13 インフォメーション

3 あなたの夏の楽しみは？

4 今後、FORUM PRESSで取り上げてほしい
内容や、ご意見・ご要望をお聞かせください

🎁 ご希望のプレゼントに1つ☑を付けてください
6/30(土)必着

- ☐ ①「アラジンと魔法のランプ」ペアチケット
☐ ②人形劇団むすび座「父と暮せば」ペアチケット
☐ ③スターキャット直営館映画鑑賞ペアチケット

豊かな緑の中、輝く瞳

いくじ ぐわ
生地川やふれあい緑道など、豊かな自然に囲まれた住宅地に立つ松原小学校。“あら野 松原 遠き世の”という校歌の歌い出しの通り、かつてこの一帯は松の原が広がっていました。「松原小学校」の名前もここに由来します。緑の中で遊びのびと育つ子どもたちに、第一線で活躍する人を見てほしいと3年前から始まったのが、北京オリンピックシンクロナイズドスイミング日本代表の松村亜矢子さん（春日井広報大使）を招いた特別授業。松村さんと一緒に、子どもたちもシンクロに挑戦！どんなことにも、元気いっぱい取り組んでいます。

ロボットで学ぶ、プログラミング教育

2020年から小学校で必修化されるプログラミング教育。松

原小ではこれに先立って、ロボットや専用アプリを教材にした授業を計画しています。タブレット端末に命令を入力すると、その通りに動くロボット。手で触れて、楽しみながらプログラミングの考え方を学ぶことができます。

「このロボット、組み立てるのが大変なんです(笑)。プログラミングは、これからの子どもたちには必須のスキルになると思うので、どういう教え方がいいのか、話し合いを重ねています」と校長先生。時代に合わせ、授業も変化していきます。



実際にロボットを動かしてみせてくれた中田賢校長。



作詞 安藤直太朗
作曲 川島博

一 あら野 松原 遠き世の
ゆかりの丘に そびえ立つ
みんなが創った ちえの棟
松のみどりも さわやかに
若さいのちは もゆるなり

二 春日井原は よきところ
村から町へ 栄えゆく
うずまきいぶきは たらつと
心ゆたかに たくましく
若さからは おどるなり

三 落合池は ひろびると
生地川の ささやきに
角ぐむ葦の すこやかさ
考える友 やりぬく子
若きひとみは かがやけり



ウェアやシューズが
かっこいいのも
バスケの魅力!

スタッフ=松浦究

春日井から、 バスケットボールの魅力を発信!

「バスケのことならお任せ!」
バスケ愛にあふれた専門店。



1 バスケのことならなんでも相談に乗ってくれるスタッフのお兄さん。2 子ども用の商品も数多く取り揃えています。3 バスケ部の学生さんに人気の雑貨もたくさん。4 バスケ漫画の金字塔「スラムダンク」のTシャツも販売しています。

PiPi提携ショップ

バスケットボールプロショップ BUZZER BEATER 春日井本店

●春日井市瑞穂通4-49 春日井スポーツ1F ●tel.0568-86-0033 ●営業時間10:00～19:30(日・祝は19:00まで) ●水曜定休

PiPi会員カード提示で、ポイントサービス2倍(一部除外品あり)



「春日井はバスケが盛ん。市内には小学生のミニバスケットボールのチームが多く、小さい時からバスケをやっている子が多いんです。『みんなとは違う物が欲しい』という声に応えるため、種類をたくさん揃えるのがこだわりです」と店長の中谷さん。お店では、社会人向けのバスケットボールリーグや、高校生の3on3大会なども主催。世代を超え、地元でプレーを楽しめることのできる環境作りにも力を入れています。経験者はもちろん、これからバスケをやってみたい方、バスケをやっている人へのプレゼントをお探しの方も、ぜひ立ち寄ってみてはいかがでしょうか？

春日井市役所近く、国道19号線から一本入った通りにある「BUZZER BEATER」。1970年から春日井市に店を構えるスポーツ店「春日井スポーツ」が、2002年に店舗の1階にオープンしたバスケットボールの専門店です。店内に一步入ると、色とりどりのバスケットボールグッズがズラリと並びます。ボールやシューズ、靴下やバッグなどの小物の他、ウェアはナイキやアシックスといった定番のブランドから、ファッション性の高い個性派ブランドまで、幅広く揃っています。

今月のお客様

文化フォーラム春日井や春日井市民会館には、いろんな土地から、いろんなお客様がいらっしゃいます。

vol.23



東京都より／本村録之輔さん(有限会社プラネットアーツ)

6/24(日)に春日井市民会館で開催する「山下洋輔スペシャル・ビッグバンド・コンサート」の打合せに来られた本村さん。「春日井公演10年目の今年、やっと、山下さんを山下洋輔ならしめた“山下洋輔トリオ”の楽曲を舞台に乗せることができます! お楽しみに!」



東京都より／鷺見大地さん、鷺見大海さん

土岐市の実家に帰省した際、文化フォーラム春日井にある「日本自分史センター」に立ち寄られた鷺見さんご兄弟。父が曾祖母の話を聞き取って書いた「聴き書き」の本に衝撃を受け、自分史に興味を持ったそう。「この場所には色んな価値がまっていますね!」

編集ノート

久しぶりの取材同行。やっぱり“誰か”の話を伺うのは楽しいなあ。その人だけにしかない“キラリと光るもの”を誌面に凝縮して、これからもお届けします!(山川)／特集ページにも掲載されている「演劇×自分史プロジェクト」は、2年目がスタートしました!「皆で作る、皆の作品」だからこそ、楽しさもいっぱい! (相馬)／取材に行くたび、頭の中の春日井地図に学校やお店がどんどん書き込まれていきます。これからも色んな場所の魅力を発見したい!(鈴木)／春と秋に特別公開される愛岐トンネル群。半円形のトンネルとその向こうに見える景色とのコントラストが何度でも通り抜けたくなる散策コースです。(神田)

(受取人)

愛知県春日井市鳥居松町5-44 文化フォーラム春日井
公益財団法人かすがい市民文化財団
FORUM PRESS 編集部行



フリガナ	お名前	歳
〒	都道府県	市郡
ご住所		
※マンション・アパート名まで必ずご記入ください。		
お電話	会員番号 P	DM送付希望 ☐

※友の会PiPiに入会されている方は会員番号もお書きください ※ご記入いただいた個人情報は、当財団が、当財団主催事業のために使用し、それ以外に使用、または第三者に提供することはありません。

料金受取人私郵便 春日井局 承認 8022

差出有効期限
平成31年3月
3日まで

郵便はがき
4868790
366



劇団カッパ座50周年記念公演 ふたりの王子

「子どもとあなたのための歌と感動の一日を」
春日井公演30周年となるカッパ座の等身
大人形劇。子どもも大人も生の舞台に感
動して、思い出に残る一日になること間違
いなし! 今年、王子様と貧しい少年が入
れ替わる感動作をお届けします。

8/5(日) 13:00~15:00
@春日井市民会館
[料金] 前売券¥2,500、こども(3歳以上
小学生以下)¥1,500●PiPi会員は各¥200
引き●全自由席、3歳未満で席が必要な方は有料
[チケット取扱] 文化フォーラム春日井・文化情報ブ
ラザ、セブンチケット(「かっぱ かすがい」で検索)ほか
[主催] 愛知カッパ友の会 (070-6801-8012)

施設の
魅力
再発見!

毎週金曜日は、
囲碁・将棋
DAY!
イラスト=スタッフ 森田完幸



囲碁や将棋をはじめとした和の文化の魅
力を伝えたい! そんな思いから、お客様利
用のない金曜日の9:00~21:00、文化
フォーラム春日井2階・和室を無料で開放
しています。10畳の和室には、本格的な
囲碁と将棋のセットを完備。オンライン
ゲームでは味わえない碁石や駒の質感も
楽しむことができます。図書館の本を片手
に、将棋の研究をするのも粋ですね☆
座って対局を楽しむことができる座椅子も
あるので、畳が苦手な方も安心です。皆さ
まのご利用、お待ちしております!



ハロー! ニューフェイス2018

4月から、文化財団に新しい仲間が加わり
ました。どうぞ、よろしくお願いします。
●事業推進グループ: 浅井南
展覧会など美術系の催しを担当すること
になりました。音楽も大好きで、学生時代
は吹奏楽部やジャズ研究会でドラムを叩
いていました。市民の皆さんにとって身近
な存在となれるように頑張ります。
●広報コミュニケーショングループ: 大西絵里加
文化財団の仕事は、今まで知らなかった
世界に出合う機会に溢れていて、とても
新鮮です。広報スタッフとして、地元春日
井の魅力を多くの人に伝えられるよう頑
張りますので、よろしくお願いします!



無料 まちかどコンサート 〜クラシックの街 「春日井」をめざして〜 旅立ちの調べ

市制75周年記念事業として、春日井市と
コンサートグループ「花の詩」が春日井市
内でクラシックコンサートを開催する企画
が始まります。コンサートの第1弾にふさわ
しい、旅立ちの調べをお楽しみください。
6/10(日) 10:30~12:00
@文化フォーラム春日井・交流アトリウム
※客席は屋外・市民広場側
[出演] コンサートグループ「花の詩」より、
春日井広報大使 飯田みち代(ソプラノ)、
Trio Luce(トリオ・ルーチェ)、Ivy
ensemble(アイビー アンサンブル)
[演奏予定曲] コン・テ・パルティロ(あな
たと共に旅立とう)、情熱大陸など



西本喜美子 写真展 「みんなで遊ぼ、楽しかよ!」

ユーモラスな自撮り写真がSNSやテレビ
で話題沸騰! 90歳の写真家・西本喜美
子さんの写真展を開催します。見たら思わ
ず笑ってしまうセルフポートレートから、道
端で拾った物を撮影したテーブルフォトま
で幅広い作品をお楽しみください。
5/30(水)~6/10(日) ※月曜休館
10:00~17:00(最終入場は16:30)
※(金)(土)は、10:00~19:30(最終入
場は19:00)
@文化フォーラム春日井・ギャラリー
[料金] ¥500(PiPi会員は¥200引き)、
高校生以下、65歳以上無料
※6/1(金) 春日井市制記念日は入場無料



南野陽子&葛西聖司 伝統芸能の魅力発見! ~につぼんの楽器・弾き物編~

NHK Eテレの番組で数々の伝統芸能を紹介
してきた南野陽子さんと、松竹大歌舞伎
の歌舞伎セミナーでおなじみ葛西聖司さん
を司会に迎え、「につぼんの楽器・弾き物」
の魅力をお届けするコンサートを開催します。
箏や琵琶、胡弓に三味線、それぞれの楽器
の音色を聴き比べながら、名曲の数々をお
楽しみいただけます。
楽器についての興味深い情報も満載、まさ
に一石二鳥のコンサート! 春日井広報大
使・馬場淳史さんもゲストとして登場し、津
軽三味線の演奏を披露します。
また、南野陽子さんによる“御当地のお着
物”コーナーでは名古屋友禅と有松絞をご
紹介。春日井の民話の朗読も予定されて
います。
和の魅力が詰まった華やかなステージをお
見逃しなく!
9/29(土) 15:00~
@春日井市民会館


元NHKアナウンサー
伝統芸能ナビゲーター
葛西聖司

津軽三味線奏者
春日井広報大使
馬場淳史

自分史の小屋

旬の情報を紹介します! Vol.5

無料の自分史相談のご案内!

文化フォーラム春日井2階・日本自分史セン
ターで毎週火曜日と金曜日に実施している
自分史相談には、さまざまなお客様がいらっ
しゃいます。
「書いてみたいけれど…自分史ってどんなも
のなの?」と、これから書き始める方もいらっ
しゃれば、「自分史を書いたから、客観的な
視点でアドバイスしてほしい」という方。「本
にしたいんだけど、予算はどのくらい? 製本は
どこで?」と具体的な事をお聞きになる方。就
職活動中の大学生が、エントリーシートの添
削で訪れることも! 最近では、自分史作りを
生業にしたり、仕事のサービスに取り入れた
いといった方が、自分史作りのノウハウを尋
ねるために来館されることもあります。
素朴な疑問から、人生を表す自分史のタイ
トル決めまで。自分史と文章のスペシャリスト
があなたのお悩みにお答えします!
お電話で日時をご予約の上、お気軽にお越
しください。

芳賀先生が火曜日
安藤先生が金曜日に
自分史相談を
行っています。



日本自分史センター相談員 安藤錦風
日本自分史センター相談員 芳賀倫子
毎週火曜日・金曜日 13:00~17:00
※要予約、相談時間は1コマ45分
【ご予約・問合せ】
かすがい市民文化財団 ☎0568-85-6868



第38回春日井市短詩型文学祭 作品募集

俳句や川柳、短歌など、限られた字数で、
世相や風情などを表現する短詩型文学
に挑戦してみませんか?
[募集締切] 9/2(日) 当日消印有効
[応募規定]

	募集作品数	
部門	一般の部(高校生以上)	小・中学生の部
短歌	1首	2首
俳句	2句	2句
川柳	2句	2句
狂俳	1題1句	—
詩	1編	2編

※狂俳のお題は、「春一番」「ほれぼれ」。
※詩は800字以内、漢詩・外国語不可。
詳細は文化財団ホームページをご覧ください。



スタインウェイピアノ開放します! 参加者募集

春日井市民会館を貸し切って、1時間たっ
ぷりスタインウェイピアノを弾いてみせん
か? 練習もよし、家族や友人とプライベ
ートコンサートを開くもよし!
CD録音サービス(¥500)もぜひご利用く
ださい。
8/11(土・祝)、12(日)
@春日井市民会館
各日8:45~17:15のうち1団体1時間
[参加料] 1枠(1時間)¥1,000
[応募締切] 7/10(火)
※応募者多数の場合は抽選になります。
申込詳細は、文化財団ホームページをご
覧ください。



無料 夜コン No.222 悠久の響き 一箏・尺八の音色ー

古典から現代までの箏と尺八の名曲を幅
広くお届けします。和楽器による悠久の響
きを楽しんでみませんか?
心癒される日本の音楽とともに、古き良き
日本の伝統に思いを馳せる初夏の夜をお
過ごしください。
6/29(金) 19:00~
@文化フォーラム春日井・交流アトリウム
[出演]
日原暢子(箏・二十五絃箏)、伊藤韻盟
(尺八)
[演奏予定曲]
千鳥の曲(吉沢検校)、春の海(宮城道
雄)、風の歌(沢井忠夫)ほか

チケット購入方法

WEB

文化はかすがい

検索

文化はかすがい

Web会員登録(無料)が必要、PiPi会員は会員IDとパスワードでログイン
チケット引取は **窓口** セブンイレブン 代引 から選べます。

TEL

電話で予約

●一般の方 (9:00~21:30、チケット一般発売初日は10:00~)
☎0568-85-6868

●PiPi会員 (PiPi先行予約期間中の9:00~17:00)
☎0568-85-6078

●チケット引取は **窓口** セブンイレブン 代引 から選べます。

窓口

窓口で直接購入

●文化フォーラム春日井2階・文化情報プラザ
(休館日を除く9:00~18:00)

●春日井市東部市民センター窓口
(年末年始を除く9:00~12:00、13:00~17:00)

ぴあ

チケットぴあで予約・購入

●電話予約／☎0570-02-9999

●直接購入／チケットぴあ窓口もしくは端末にて

※公演ごとのPコードをご確認ください。
※PiPi会員割引はご利用いただけません。

etc

その他プレイガイド

※ローソンチケット、セブンチケット、ファミポート、名鉄ホールチケットセンターなど、各プレイガイドで販売する公演もございます。販売対象は各公演情報をご確認ください。

窓口購入以外のチケット引取方法

セブン・イレブン

お近くのセブン・イレブン店頭で引取

※チケット代金の他に、決済手数料(1件につき¥162)と
発券手数料(チケット1枚につき¥108)が別途必要

代引

郵便局「代金引換サービス」でご自宅に郵送

※チケット代金の他に、代金引換手数料(¥500)が別途必要

※掲載価格はすべて税込です。※一般発売初日は、電話・Webからの予約・購入は10:00からとなります。電話のおかけ間違いにご注意ください。※車いす席をご希望の方は窓口または電話でお問い合わせください。※支払・引取方法によって各種手数料がかかります。※予約済・購入済チケットのキャンセル・払い戻しはできません。※前売り完売の場合、当日券の販売はありません。

青少年鑑賞
サポートプログラム

●対象者は優待価格¥500でチケットをご購入いただけます。
●受付方法など、詳しくは財団HPへ。

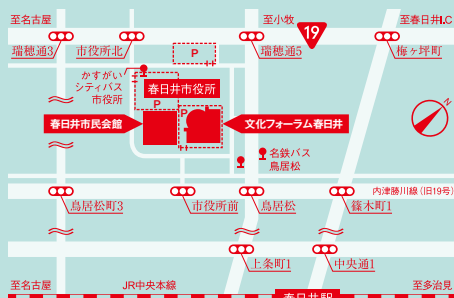
友の会PiPiに入会すると、こんなにお得!!

チケット先行申込／割引価格／最新情報を郵送／etc

レギュラー会員 **¥2,000**／ゴールド会員 **¥3,000**

ご入会・更新は財団HP「友の会PiPi」からどうぞ。24時間受付中!

文化フォーラム春日井／春日井市民会館
www.kasugai-bunka.jp Follow us @kasugai_bunka
486-0844 愛知県春日井市鳥居松町5-44
【休館日】月曜日(祝休日の場合は翌平日)・12/29~1/3



交通のご案内

JR中央線
「春日井駅」北口より
・名鉄バス「鳥居松」下車すぐ
・徒歩20分
・無料レンタサイクル5分
(日・祝休み)

かすがいシティバスで
お越しの方
・「市役所」下車すぐ
※駐車場は混雑が予想されます。なるべく公共交通機関
や乗合せをご利用ください。



©Jimmy & Dena Katz

山下洋輔 スペシャル・ビッグバンド・コンサート2018

6/24① 16:30~
@春日井市民会館
【料金】●一般¥6,500、U-25 (25歳以下) ¥3,000 ●PiPi会員は¥300引き ●全席指定、当日券同額、未就学児入場不可

WEB TEL 窓口 ぴあ(Pコード106-228)



葛西聖司の極付! 歌舞伎セミナー

6/29① 13:30~
@春日井市民会館
【料金】●¥500 (松竹大歌舞伎のチケット提示で無料)
●全自由席、当日券同額、未就学児入場不可

窓口



©2016 GAUMONT - AJAZ FILMS - NEXUS FACTORY

第68回かすがい日曜シネマ「はじまりのボーイミーツガール」

7/1① 10:15~ ② 13:45~ ③ 16:45~
@文化フォーラム春日井・視聴覚ホール
【料金】●¥800 (当日券¥1,000) ●PiPi会員¥700 (当日券同額) ●全自由席、上映時間指定、未就学児入場不可
※②の回はシンボイスガイドあり。ご予約の際にお申し出ください。

WEB TEL 窓口



松竹大歌舞伎

7/16① 12:00~ ② 16:30~
@春日井市民会館
【料金】①S席¥7,500、A席¥5,500 ②S席¥7,000、A席¥5,000 ※①②ともB席は完売 ●PiPi会員は¥300引き
②のみ小中高生¥500 (WEBから要申込) ●全席指定、当日券同額、未就学児入場不可
出演:尾上菊之助 ほか

WEB TEL 窓口 ぴあ(Pコード484-556)

青少年鑑賞サポートプログラム



6月発売

●一般発売 6/3①~ 第88回かすがい芸術劇場 人形劇団むすび座「父と暮せば」

8/10① 14:00~ ② 19:00~ @文化フォーラム春日井・視聴覚ホール 【料金】●¥2,300 ●PiPi会員は¥300引き、小5~高¥500 (WEBから要予約) ●全自由席、当日券同額、整理番号順入場、小学4年生以下入場不可

WEB TEL 窓口 ぴあ(Pコード486-438)

青少年鑑賞サポートプログラム



©上杉通

花形狂言2018 真夏の狂言大作戦!

8/19① 15:00~
@春日井市東部市民センター
【料金】●¥3,500 ●PiPi会員は¥300引き、小中高生¥500 (WEBから要申込) ●全席指定、当日券同額、未就学児入場不可

WEB TEL 窓口 ぴあ(Pコード484-925)

青少年鑑賞サポートプログラム



6月発売

●PiPi会員先行予約 6/9①~6/12② ●Web先行予約 6/13①10:00~6/15②17:00 ●一般発売 6/16①~ 日生劇場ファミリーフェスティバル2018 物語付きクラシックコンサート アラジンと魔法のランプ

8/25① 11:00~ ② 15:00~ @春日井市民会館
【料金】●一般¥3,000、こども(中学生以下) ¥1,500 ●PiPi会員は¥200引き ●全席指定、当日券同額

WEB TEL 窓口 ぴあ(Pコード116-799)

ローソン(コード41968)



6月発売

●PiPi会員先行予約 6/17①~6/20② ●Web先行予約 6/30①10:00~17:00 ●一般発売 7/1①~ 南野陽子&葛西聖司 伝統芸能の魅力発見!

~にっぽんの楽器・弾き物編~
9/29① 15:00~ @春日井市民会館 【料金】●¥4,000 ●PiPi会員は¥500引き、小中高生¥500 (WEBから要申込)
●全席指定、当日券同額、未就学児入場不可

WEB TEL 窓口 ぴあ(Pコード118-660)

青少年鑑賞サポートプログラム